

研究課題番号	3-1805
研究課題名	SDGs12.3 指標の提案に向けた食品ロスの実態の解明
研究実施期間	平成 30 年度～令和 2 年度
研究機関名	京都府立大学
研究代表者名	山川 肇

1. 委員の指摘及び提言概要

食品ロスに関する基礎的知見が蓄積され、食品ロスに関しての分類表ができたことを評価したい。国際的な発信は重要な課題であり、成果を挙げられたことは賞賛に値する。食文化の異なる各国で「Food waste」の定義の違いを明らかにした挑戦的な試みは評価できる。食品ロスの定量的な評価にあたって、Tokyo Method として、平易かつ大きな困難なく実行できる分析手法を提案したことは大きな意義があると考えます。一方で、分類方法は国際的にアクセプトしてもらうことが重要であろうが、そのための手段にはどのようなことが考えられるか提示してほしい。提案の食品ロス分類を今から新たに導入して、社会的コストをかけて新たに得られる「環境政策の導入」の科学的根拠にしていく道筋が見えないのが残念である。

2. 採点結果

評価ランク：A